

今年は皆様にとって 良い年でありますように

～静岡大会と国際理事会の成功を祈念して～



宮崎大学 農学部・IPPS-J 会長 鉄村 琢哉

新年あけましておめでとうございます。

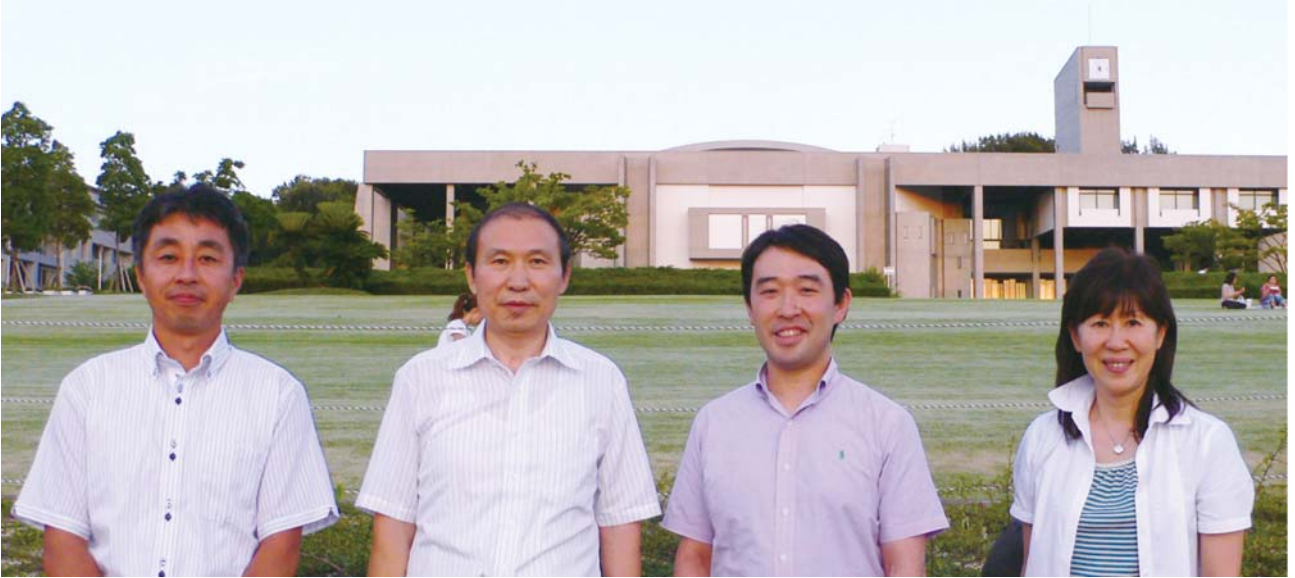
会員の皆様におかれましては日頃からIPPS-Jの活動にご理解、ご協力いただき、誠に有り難うございます。

2011年は日本、いや世界の歴史に残る年となってしまいました。あの震災以外にも、台風12号による豪雨被害、そして私の住む場所も1年前は新燃岳噴火による降灰が断続的にありました。また、今年は冬が厳しいとの予報も出ています。こういった自然災害だけでも大変な状況であるのに、いつになっても終わらない異常な円高やTPPへの参加などは我々にどのような影響をもたらすのでしょうか？日本を取り巻く状況はさらに厳しさを増していくだろうとほとんどの方が思っていることでしょう。

こういう時だからこそ、一つ一つできることから確実に進めていき、近い将来の躍進に向けて行動すべきだと私は考えています。鈴木副会長を中心に準備が進められている第

19回静岡大会は10月27～28日に開催されます。会員の方々はもちろんのこと、非会員の方々にも数多く参加していただき、大会を成功させて欲しいと願っています。「IPPS-Jの大会が盛況だからと言って、日本の状況が良くなるのか？」と思われる方もおられるでしょう。しかし、今回は例年の大会とは若干異なります。それは国際理事会が同じ時期に同じ場所で行われるからです。

『IPPS最大のイベント』である国際理事会が、2004年以来、日本で行われ、各国支部の理事たちが10月20日頃に来日し、関東周辺の園芸状況を視察しながら、浜松の地へ移動することは、昨年のお慶大会でもアナウンスがあったのでご存じの方も多いかと思ひます。そして国際理事会参加者の多くが、



名古屋大学にて。右より、東京大学吉田先生、名古屋大学東山先生、南九州大学陳先生、そして私。私のみが園芸関係。他の3名は知る人ぞ知る先生です。

静岡大会の懇親会等に参加することが予想されています。もし、しみりとした大会が行われていたら、「フクシマの影響は続いているな〜。」との感想を自国へ持ち帰るかもしれません。楽しく、明るく、そして盛況な大会が行われれば、その詳細が各支部のニュースレターに掲載され、皆さんのさわやかな笑顔が世界各国の多くの会員方々の目に留まることでしょう。そのことが日本の状況を少しでも好転させるとは思いませんか？

もちろん、大会にただ参加するだけではなく、積極的に研究発表し、懇親会等で交流を進めて頂きたいと思います。まさしく

「Sharing Plant Production Knowledge Globally」です。そういった意味では、昨年の愛媛大会は、私にとって非常に重要な大会になりました。いろんな方々と研究等の話を進めることができ、有意義な2日間を過ごすことができました。大橋実行委員長にはホスピタリティにあふれた大会にさせていただき感謝しております。

最後になりましたが、今年が日本にとって明るい年となるよう、またIPPS-Jおよび会員の皆様方のさらなる発展を願っております。

ニュージーランド 交換研修生受入れ



株式会社 ベルディー
代表取締役 水谷 朱美

今年で2回目となる研修生の受入れですが、昨年は何も出来ず、今年初めてのお手伝いでGAIJINと1対1で過ごす国内留学体験をいたしました。

愛媛大学の駐車場でむき出しバラバラ自転車を引き継いだ時は、大丈夫だろうかと非常に不安になりましたが、瀬戸ジャイアンツを美味しそうに頬張りながら車から降りてきたリチャードを見て少しほっとしました。

10月は自社温室内に苗が少なく、社内研修をしてもらえないため、観光案内をすることにして、愛媛大会終了後の17日は栗林公園・鳴門海峡大橋と鳴門金時畑、18日は終日自転車で京都観光、19日弊社と豊橋市内の視察という行程を組みました。



京都・龍安寺

京都では伏見稲荷・清水寺・八坂の塔・金閣寺・龍安寺・二条城を訪れました。紅葉した庭を期待していたらしく、ほんの少し色付いただけの庭を見てとても残念がっていました。金閣寺ではお抹茶で一服し、龍安寺では‘ZEN GARDEN’を眺め、多くの寺や神社があることに驚きながらも古都を楽しんでもらえたと思います。愛知・三重・静岡間の移動は持参した自転車で、国道1号線の信号の多さにうんざりしながら日本の道路事情を実感できたようです。

帰国前日に再度東京で待ち合わせて浅草寺・東京スカイツリー遠景、竹下通りから表参道を案内し、帰国当日の朝フラワーオークションジャパンの時計セリや仲卸を視察して品川駅で見送りました。



来日後の行動をデジカメ画像で見せてくれましたが、岡山ではシンピ山あげ作業・剣道稽古・後楽園・山陽農園、三重では個人宅の庭作り作業・植木市場・赤塚植物園・少林寺拳法稽古、静岡では農林大学校・浜松花き・鈴もと・ハロウィンパーティー&ジャズセッションと盛り沢山の経験が出来たようです。食べ物では、納豆卵かけごはん・すきやき・回転寿司・焼肉・やきとり・そば・吉野家の牛丼等々好き嫌いなく何でも箸を上手に使って食べていました。食後にアイスクリームを嬉しそうに食べる姿はちょっとかわいかったですね。とてもにこやかで積極的な好青年で、会話が成立しない時でも嫌な顔をすることなく簡単な単語を選んで話をつないでくれたので、途方に暮れることなく過ごせました。

受入れされた皆さんそれぞれに実務と文化面で違った角度の紹介をされていて良い交流事業になったのではないかと思います。

次回受入れに向けての準備としては、候補



品川駅にて

者が決まった時点で経歴や興味のある程度の事項と希望を聞いておくことと、食べ物等の嗜好について情報を入手しておくと思いいます。

来年は国際ツアーもありますので、一人でも多くの方にお手伝いいただき、若い世代の育成と日本と日本支部への理解を深めてもらえるようにご協力をよろしくお願いいたします。



大文字草・京小町

精耕園 越智 佳宜



10月の愛媛大会には多数のご参加を頂き、本当にありがとうございました。いかがでしたでしょうか？少しは愛媛の魅力を感じて、また行ってみたいと思ったださればうれしいです。

大会参加者の皆様には、私の所で育種しております「大文字草・京小町」をプレゼントさせて頂きました。懇親会の際に育て方等をお伝えしたかったのですが、会も終盤・・・お酒も随分進み、うまく説明ができませんでしたのでこちらのニュースレターにてお伝えしようと思います。

もともと大文字草は、白花で漢字で「大」という形にその花が咲くことから名付けられた山野草です。父の代から始まり、20余年かけて品種改良を繰り返し様々な色や形の大文字草を作ってきました。今までの品種は、どこか他の品種とタイプが似ているところがあったりしたのですが、全く新しい少し花弁がオレンジがかった丸弁の品種が2009年に誕生しました。それが「京小町」です。現在、品種登録申請を出しているところです。



大文字草の寄せ植え



大文字草・京小町

お客様から、時々「大文字草の栽培は難しいのではないか」という声を聞きますが、決してそんなことはありません。ちょっとしたコツと愛情を注いでやることで、きちんと翌年以降も花を咲かせることができます。

開花期が9～10月頃ですので、今は花後の状態となるかと思います。冬場は、凍らない程度の保護をして、この時期はついつい水やりを忘れがちになりますが、乾燥に気を付けてください。

春、新芽が動きだしたら植え替え時期です。鉢からぬいて、土を全部落としてピンセットで根をほぐし、古葉や古い根を取り除いてから1~2本ずつに分けて植え替えて下さい。風の当たらない適温を保てる所で1週間くらい日陰に置いた後、3月下旬位までは日なたに置きます。大文字草は日陰の植物ですが、この頃は少し日に当ててやった方が成長が良いようです。元肥は様子を見ながら、夏には肥料分がなくなるようにしてください。梅雨明けからは80%程度の遮光にして管理します。土の上へは置かず、できれば低い棚の上

に置きましょう。水やりは日没後水をたっぷりかけ、鉢の廻りにも水をかけ温度を下げると痛みにくいです。

さあ、次は待ちに待った秋、開花シーズンがやってきます。茂った葉から小さな芽が顔を覗かせ、次々と花が開いていく姿に心和むことでしょう。花に水をかけないように水をやると、約1ヵ月は観賞できます。来年もぜひ咲かせてみてください。開花情報、お待ちしております!!



オランダにおけるキク生産

イシグロ農材株式会社 代表取締役社長 石黒 功



オランダは日本に次ぐ世界第二位のキクの生産国です。
ここではキクの穂木生産から本圃での栽培までご紹介します。

🌱 穂木生産・苗生産

日本ではキク苗のほとんどが自家増殖ですが、オランダでは通常苗生産会社から発根苗を購入します。以前はオランダ国内に数多くの苗生産会社が存在し、品種に関係なく苗を購入することができました。現在はオランダの育種会社が自社品種のみの穂木を販売しています。各育種会社は、気候が苗生産に適し



ており、生産コストが安いアフリカ（ウガンダ、タンザニア、ケニアなど）に穂木生産拠点を作り、穂木をオランダに空輸しています。オランダに輸入された穂木は、各育種会社にてピートブロックに挿され、ガラス温室で2週間ほど発根・育苗させ、生産者に出荷されます（写真①）。日本では輪菊が主な品目ですが、オランダではスプレーギクの生産が7割以上を占めています。

🌱 定植・栽培・設備

苗は人の手により一本一本定植されていましたが、近年大規模農場では省力化のために自動定植機を導入しています。畝間の通路は人が一人通るのも困難なほど密植されています（写真②）。高圧ナトリウムランプは広く普及しており、日長調節と補光（光合成促進）に併用され、日照条件の悪いオランダでは、キクの周年生産には欠かせない設備となっています。

最近では、生育スピードが極めて重要であり、温室の採光性の向上や補光による生育促進だけでなく、育種によっても栽培日数の短縮が実現されています。スプレーギクでは、20年前は年間3.3作程度でしたが、現在では5作以上が一般的となっており、本数にすると1年あたり300~320本/m²の収量になります。

この他、天然ガスを用いたコージェネレータによる自家発電、副産物の温湯の暖房への利用、光合成促進のための二酸化炭素の施用、そしてこれらの環境要因をコンピュータで統合的に管理しています。オランダでもキク生産はほとんどが土耕ですが、環境汚染対策のために土壤中に排液の回収設備を設置して、再利用している圃場もみられます。また、天敵昆虫を最大限に利用した害虫防除も確立されています。

生産されたキクの大部分がドイツやイギリスなどに輸出され、キクの花束や他の切り花とのミックスポーケとして消費されています。



執筆：イシグロ農材株式会社
石黒 康平



朗読文化の花を咲かせたい

㈱フロル しろうさぎのかぜ朗読教室 稲葉 英美子



みなさん、こんにちは。IPPS会員、滋賀の稲葉です。

昨年の上半年までは、園芸の仕事に携わっていましたが、現在は、前から興味があった朗読の世界に飛び込んでしまいました。

これまでは、年に数回だけ、朗読ボランティアや朗読発表会などの活動をしてまいりましたが、2011年6月、朗読のための会社を設立し、日々悪戦苦闘しています。

当社の社名、㈱フロルは、スペイン語で「花」という意味です。滋賀県に朗読文化の花を咲かせたいという願いを込めています。けれどこの花の開花時期は、私にも予想が付きません。スイセンのように寒くても年明けには咲いてほしいものです。

ところで、園芸の仕事から離れるとやはり花を見る機会が減ってしまいました。それは結構、予想以上にさみしいものです。なので、園芸と朗読を活かした仕事があればいいなあと切に感じます。何かコラボレーション出来ることを思いついた方は、ご連絡下さいね。

さて、2011年9月に朗読CD「しろうさぎ

のかぜ」を、発表させていただきました。私の好きな宮澤賢治さんの作品3つです。私は、宮澤賢治さんの「注文の多い料理店」序、この序文が、本当に大好きです。何回も読んでいるうちに朗読家になりたいと感じたのだと思います。このようなことで朗読CDの最初にこの序文を収録しました。岐阜大の福井先生にもお言葉を頂戴し、CDジャケットに掲載させていただきました。作品は、ホームページで少し試聴できますのでお時間のある方は、お聴きください。

また、楽器と朗読をコラボしたコンサートを開催する予定です。

【と き】2012年2月4日(土) 13:30開場
【ところ】京都市国際交流会館
(京阪 蹴上駅から徒歩5分)
【入場料】2,000円(当日2,500円)

作品は、やはり宮澤賢治さんのものが、ほとんどですが、詩の朗読などもあります。楽器は、ネイティブアメリカンフルート・ファゴット・二胡とめずらしい楽器ばかりです。詳しくは、<http://shirousaginokaze.com/> をご覧ください。

お待ちしております。私の宣伝ばかりですみません。IPPSから少し遠のいたかもしれませんが、朗読の花を咲かせるよう頑張っていきます。

2012年、みなさんにとって素敵な一年になりますよう心よりお祈り申し上げます。健康に気をつけて頑張りましょう!また、お会いしたいですね!



会員紹介コーナー

岐阜種苗(株)
代表取締役社長 山島 一二 さん



岐阜種苗(株)の山島一二社長を紹介いたします。山島さんは（平成8年）1996年、第3回IPP-S-Jの岐阜大会の際に入会されました。真面目なお人柄で、物静かな性格で会の中では目立ちませんので、理事などの役員はされておきませんが、古い会員です。

事業は昭和55年（1980年）にご自身が43才の時にそれまでの経験を生かして岐阜種苗商会として創業されました。切り花用植物の種苗の生産・販売を始められました。特にカタログ販売をしている会社への卸販売や生産者への種苗の供給でした。事業は順調に推移し、3年後には株式会社として事業の拡大を図りました。

常に新しい品種や植物の楽しみ方を提案し、人間生活に欠かすことができない花や樹木の持つ可能性を提供してきました。そのために日本全国はもとより、花の先進国のヨーロッパの植物事情にも常にアンテナを張りめぐらせて、情報の収集に努めて来られました。

平成になってからは海外からも積極的に新しい植物を導入され、増殖をして日本全国に販売をされてきました。平成6年からはオランダやタイより球根の輸入も始めました。また全国の農家に委託生産を増やして、全国販売に努力をされてきました。

平成15年からは個人需要に応えるために『リトルフォレスト』の商標で通信販売の業務



作業場

も開始しました。素晴らしいカタログを作成されて、全国の園芸愛好家へ、多い時には4万名をこえるお客様へのカタログ販売をされたとのこと。親切な「栽培の手引き」を作成しての通信販売ですので、通常取引は2～3%が普通ですが、7%を超える取引があったようです。優秀な社員を沢山擁して、素晴らしい、見て楽しくなるようなカタログを作成しています。

現在の取り扱い園芸植物は宿根草類を中心に野菜苗、草花苗、鉢花、球根植物、花木類などと殆どの植物を生産・卸販売する総合園芸

商社です。

取引先もタキイ種苗を初めとして、サカタのタネ、カネコ種苗、第一園芸など、園芸業界の大手に納品されています。園芸業界の大手企業を植物供給の立場で支えている会社です。従業員は社員20名とパート従業員が20数名いて、全国の委託農家150軒への指導・管理や多くの取引先からの受注・卸販売をされています。山島社長様の人柄が皆さんへ浸透しており、社内には紳士的な社風を感じました。

これからの更なる発展を祈りながら、失礼いたしました。



事務所内風景



出荷場

岐阜種苗株式会社

〒502-0914 岐阜市管生6丁目2番9号
TEL:058-233-8882
FAX:059-232-2881



赤塚植物園・希少植物温室 ユートピアファームの植物

(株)赤塚植物園 藤森 忠雄



トックリキワタ 落葉高木

(徳利木綿、ヨイドレノキ、ヨッパライノキ)
パンヤ科/コリシア属

学名 *Chorisia speciosa*

原産 ブラジル南部、アルゼンチン、パラグアイ



特 徴

12月から1月にかけてピンクの花が咲く落葉高木で、満開の様子が桜に似ていることから「南洋桜」とも呼ばれています。実の中には種子を包むように綿(カポック綿)があり、この綿は座布団、クッションをはじめ浮力が大きいので救命胴衣やブイの浮き材等にも使われていたそうです。若い木の幹には鋭い棘がありますが、古くなると幹部がトックリ状になります。栽培には最低10℃は必要です。(沖縄では屋外での栽培が可能)



ベトナムツバキ 非耐寒性常緑低木

かいどうつばき
(海棠椿、ベトナムツバキ“ハイドウン”)
ツバキ科/ツバキ属

学名 *Camellia amplexicaulis*

原産 ベトナム北部～中国南部

*** 花言葉 ***

誇り、完璧な魅力

特 徴

ベトナムのグエン王朝時代(1802～1945)13代続いた王家で愛された、門外不出の『幻の名花』と呼ばれた椿。戦後日本の学術調査によって再発見され1994年に日本導入された貴重な品種です。

一般的な椿のイメージとは異なり、花卉は蠟細工のような質感があり、肉厚でエキゾチックな雰囲気をかもし出しています。紅花と白花があり、12月から1月にかけて咲きます。ベトナムでは旧正月を祝う花でもあるそうです。



栽培場所は明るい半日陰が良く、冬は5℃以上の温度が必要です。

1994年12月から、元東京農工大学 箱田直紀教授がハノイ大学の植物分類学主任のニン教授と共に本格的な共同調査を始め、日本ツバキ協会の副会長や理事の方も同行されたそうです。従って、日本に導入され普及したのは1995年以降です。日本に導入され、16年程しか経過していないので、比較的新しい植物を言えます。

IPPS-J 第八期理事・監事・役員・理事代理名簿 (2011.1.1~2012.12.31)

	役職	氏名	担当	会社・所属
1	会長	鉄村 琢哉		宮崎大学 農学部 教授
2	副会長	鈴木 隆博	HP、静岡大会	㈱浜松花き 代表取締役
3	副会長	大橋 広明	愛媛大会	愛媛大学農学部 生物資源学科 助教授
4	事務・会計理事	南出 幹生		南出㈱ 代表取締役
5	編集理事	富田 正徳		㈱アイエイアイ エコファーム部
6	国際理事	仁藤 伸昌	BlackBook	近畿大学 生物理工学部 教授
7	国際理事代理	内田 恵介		グリーンクラフト 代表
8	理事	石井 克明	国際理事会	森林総合研究所 森林バイオ研究センター センター長
9	理事	佐藤 伸吾	IPPS活性化	㈱花街道 代表取締役
10	理事	藤森 忠雄	ニュースレター	㈱赤塚植物園 執行役員常務 兼 社長室長 渉外担当
11	理事	水谷 朱美	国際理事会	㈱ベルディ 代表取締役
12	監事	遠藤 弘志		揖斐川工業㈱ アグリバイオ部 取締役アグリバイオ部長
13	国際交流推進委員	大森 直樹	IPPS活性化	㈱山陽農園 代表取締役
14	年史編纂委員	柴田 勝		㈱王健 代表取締役
15	理事代理	青山 兼人	国際理事会	兼弥産業㈱ 事業本部 取締役部長
16	理事代理	速水 正弘	静岡大会	静岡県立農林大学校 教務課 主幹
17	理事代理	小池 安比古		東京農業大学 農学部 教授

編集後記

IPPSの日本支部の皆様
 新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様にとって本年が輝かしい年になりますようお祈り申し上げます。

会長の挨拶にもありますが、今年の10月には国際理事会が日本で開催されます。担当の理事の皆様には、準備に大変にご苦勞をおかけしています。10月に向けての準備を重ねて会員の皆様にも宜しく願い致します。

さて、昨年暮、当社の希少植物温室の中に植えている“ベトナム椿”が咲き始めましたので、マスコミに呼びかけ、鑑賞会をいたしました。

15年生の結構大きな株（高さ約3m）ですが、今までは剪定を適切にできなかったために蕾が付かなかったのですが、昨年は30ヶの蕾を付けました。正月までに半分以上の蕾が開きました。ベトナムでは正月飾りにすることです、花は温度が低ければ3週間程度咲き続けるそうですが、当社のは温室内のため、7日間程度で落ちてしまいますが、見学に来られたお客様は皆さん大変に喜んでくださいました。来年も再度、見に来たいという声をいただきました。寒さに弱いため国内ではまだまだ普及が遅れているようです。

詳しい説明は11ページを参考にしてください。

ニュースレター担当：藤森忠雄

赤塚植物園・希少植物温室ユートピアファームの植物

 **オオベニゴウカン** 常緑低木

(大紅合歓、アカバナブラシマメ、赤花ブラシ豆) マメ科/カリアンドラ属

学名 Calliandra haematocephala 原産 ポリビア、ペルー、ブラジル

特徴

ネムノキ(合歓の木)の仲間、属名のカリアンドラは“美しいおしべ”を意味します。長い線状のおしべが多数固まって球状のブラシ状につき、繊細で独特な美しさがあります。緋紅色のほか白花もあります。寒さに合うと落葉します。

この植物の葉をメタノール抽出により取り出した物質が、血糖値の上昇を抑制する作用があることが発見されました。当社と東京海洋大学の共同研究で発見し特許も取得しました。

* 花言葉 *
高潔、澄んだ心

